

未完の利器 今春鳴門部屋入門



高校卒業後、大相撲の鳴門部屋に入門する金沢秀俊君。「1日も早く関取へ」と意欲を見せる=豊橋中央高校で

ブレずに“電車道”で大相撲の世界へ

豊橋中央高3年 金沢秀俊君

未完の利器、可能性は無限大！。豊橋中央高校3年の金沢秀俊君(18)は豊橋市一色町IIが今春、大相撲の鳴門部屋(東京都墨田区)に入門する。親方はブルガリア出身の元大関琴欧洲。中学時代から相撲界にあこがれ、ブレることなく努力を重ねてきた。「パワーを生かした押し相撲で1日も早く関取になりたい」と燃えている

身長181センチ、体重160キログラムの恵まれた体格。普段はよくしゃべって笑顔を絶やさないが、まわしを付けて土俵に上がると表情が一変。眼光が鋭さを増し、腰の落ちた電車道相撲で相手を圧倒。中学時代の対戦相手は「仕切っているときから独特のオーラがあり、四つに組んだらビクともしなかった。とにかく気迫とパワーが凄かった」と話す。

柔道と相撲の二刀流
小学時代から同級生よりひと回り大きかった。顔は彫りが深く、体型はほっそりやうい型。当時から明るく目立つ

ると、土俵に上がるのが楽しくなった。「もつと強くなりたい」。週2回ほど市内の相撲教室に通い、下半身強化の四股踏みやすり足、ぶつかり稽古などで体が悲鳴を上げるまで基礎を吸収した。次第に頭角を現し、2年時に学年別個人戦で市内、東三河大会を制して県大会出場。準々決勝で敗れたが、このとき、観戦していた鳴門親方に「気迫の込められた、いい相撲だった」と声を掛けられた。「負けた相撲を褒めてもらったことに感激した。悔しい気持ちも吹っ飛んで、さらにやる気が出ました」。

存在だった。サッカーなどで友だちと外で遊ぶのも好きだったが「一番得意だったのはテレビゲームでした」と笑う。南陽中時代は柔道部に所属。同部は市の相撲大会に出場するのが慣例で、夏の総体は柔道と相撲の2競技に出場。相撲の稽古で決まり手や所作、トレーニング法を覚え

通っていた相撲教室の所属で他県の道場や大学相撲部などを訪れ、格上の胸を借りた。3年の夏休みに出場した白鵬杯大会の会場で鳴門親方と再会し、部屋の稽古にも参加。各地の大会で活躍した中学時代の金沢君



鳴門親方(左)のあいさつを受ける金沢君。右は母親のソニアさん

「磨けば光る」鳴門親方があいさつ

鳴門親方は昨年12月、豊橋中央高にあいさつに訪れ、高倉嘉男校長や母親に大相撲界のしきたりや今後の日程について説明した。

親方は、中学相撲の県大会会場で金沢君と出会い、印象は「粗削りだが馬力があり、磨けば光ると感じた」。経験値は浅いが、相撲を覚えるのはこれから。「みっちり稽古を積んで力をつけて欲しい。相撲界は我慢と辛抱がつきものだが、息子のように優しく厳しく指導していく」と話し、大の相撲ファンという母親のソニアさんは「自分で決めた道を最後まで貫き、気持ちで攻める力士になって欲しい」と期待する。高倉校長も「しっかりと土俵に根を張り、努力を実らせてほしい。みんなで応援しています」と激励した。



中学卒業と同時に角界入りの選択肢もあったが、「人間の選り手」にまだ未熟。3年間で心と体

人柄も評価される力士に

加「厳しいけど、活気があって雰囲気良かった。自分に賭けてみたい」と入門を決意。15歳の熱い夏、将来図が固まった。

みんな楽しく走ろう
ランフェス in 豊橋
今月8日開催
参加者受付中
※楽しく走ろうを合言葉に今月8日午前10時から陸上競技イベント「ランフェス」が市陸上競技場で催さ

れる。豊橋では昨年11月に続き2度目の開催。600以上の3000以上の中長距離走をメインに、元実業団選手や箱根駅伝経験者らと一緒に心地よい汗を流す。小学生向けのランニングクリニックもある。

未就学児から小中学生、高校一般まで、年齢や陸上経験の有無は問わない。初心者の参加を広く呼びかける。参加費は未就学児を磨くと、豊橋中央を選んだ。高校には相撲部がないため、パワーリフティング部で筋力を強化。2019年の名古屋場所に合わせて、系列のたから幼稚園の園児と交流のため訪れた尾車部屋の力士と対戦し、勝つこともあったという。生徒会にも籍を置き、協調生や聞く力を養った。

3月に角界の門を叩く。部屋で稽古を積み、4月に新弟子検査を受ける予定。教室で教わった押し相撲が生命線。「横綱照ノ富士閣のようにがちり受け止めて前に出る相撲で星を挙げたい。番付が1枚違うだけで立場が変わる実力の世界。「いろんな試験が待っていると思うけど、自分に負けたくない。2年後には関取を狙える位置にいたい」と口元を結ぶ。「力士にはいろんな人がいるが、僕には人柄も褒めてもらえるお相撲さんになりたい」と、闘志と優しさを交錯させた。

次号の「スポーツとよはし」
令和4年1月10日
姉妹紙 スポーツとよかわスポ
株式会社 豊橋印
スポーツとよはし編集部
0532-87
所在地/豊橋市